

北海道魂見せてます!

北海道で、いま話題の
スポットをご紹介

元気・現地・JUMP!



札幌コンサートホールKitara

札幌市

世界第一級と言われる音楽施設

1997年に中島公園に造られた北海道初の音楽専用ホール「札幌コンサートホールKitara」は札幌を代表する音楽施設だ。すすきのから近く旅行中でも立ち寄りやすい立地にあり、公園の緑に調和する総ガラス張りのエントランスは明るく開放的に出迎えてくれる。

施設内には大小2つのホールがあり、客席間で音響の差が少なく、どの席からでも最高の演奏を鑑賞できる。大ホール正面にあるパイプオルガンは4976本のパイプを使用しKitaraのために2年をかけて作られたフランスのアルフレッド・ケルン社製の特注品だ。

同施設は国内外の一流音楽家のコンサートを数々開催しており、「PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)」の会場としても演奏を楽しませてくれる。まさに老若男女問わず人と音楽を繋ぐ音楽施設なのだ。



札幌コンサートホールKitara
札幌市中央区中島公園1番15号
☎011-520-2000
🕒10:00~17:30
(公演のある日は終演時間による)

函館市熱帯植物園

函館市

冬の風物詩、サル山温泉のニホンザル!

北海道の三大温泉郷のひとつである湯の川温泉街の一角に、温泉熱を利用し、約300種、3000本の熱帯植物が植えられている「函館市熱帯植物園」がある。園内では南国の珍しい花や木々の他に、インコやうさぎなどの動物を見ることが出来る。中でも人気なのは、園内のサル山で飼育されているニホンザルだ。

このサル山内では冬限定で湯の川温泉のお湯を引く、日本でも珍しい温泉に入るニホンザルの姿を見ることが出来る。昭和45年に植物園がオープンした翌年に20頭から始まったニホンザルも、現在では約90頭と大所帯に。それだけの数があると、のんびり温泉に浸かるものや勢いよくダイブして遊ぶものなど、性格様々に温泉を楽しんでいる様子に出会えるだろう。

子ども向けの遊具や足湯もあり、家族連れで楽しむことから多くの観光客で賑わっているスポットなのだ。



函館市熱帯植物園
函館市湯川町3丁目1番15号
☎0138-57-7833
🕒4月~10月 9:30~18:00
11月~3月 9:30~16:30

氷海展望塔オホーツクタワー

紋別市

流水の下から海を見渡せる海中展望塔

紋別港第3防波堤にある、海岸から約1キロ続く通称クリオネプロムナードの先端に位置する「氷海海中展望塔オホーツクタワー」は、観光施設と研究観測施設の2つの役割を持つ世界初の氷海の海中展望塔だ。

このタワーにはオホーツク海を360度のパノラマで眺望できる海上38.5mの高さにある3階展望室と、海底7.5mからの海の世界や冬には海面に浮かぶ流氷を下から覗ける海底階が設けられている。流氷が海岸に押し寄せるダイナミックな様子を海上と海中の両方から満喫できる展望塔なのだ。また、海底階ではクリオネやフウセンウオなどのオホーツク海に生息する生物を中心とした展示も行っている。「これぞ冬の北海道」という大自然を感じたい場合はマストスポットだ。



氷海展望塔オホーツクタワー
紋別市海洋公園1番地海洋交流館内
☎0158-24-8000
🕒10:00~17:00(最終入館時間16:30)

旭橋

旭川市

街の人々に愛されてきたシンボル橋

旭川市は130もの川が流れ、750以上の橋が架かっていることで「川と橋の街」と呼ばれている。その数ある橋の中でも昭和7年に造られた「旭橋」は当時の最新建築技術を現代に伝える貴重な橋として「土木学会推奨土木遺産」や「北海道遺産」に選定されている。街のシンボル橋として市民に親しまれており、その景観は「旭川八景」のひとつに数えられているほどだ。

旭川八景に選ばれる旭橋の魅力は、旭橋自体の美しさにある。大雪山連峰を背景にした旭橋の雄大な眺望や、夕暮れの赤い空に浮かび上がるアーチのシルエットはぜひ見ておきたい風景だ。

夏には期間限定で橋から水を放水し滝を作り、ライトアップも行われている。旭橋は季節によって様々な風景を満喫することができるビュースポットなのだ。



旭橋
旭川市常盤通3丁目から本町1丁目
☎0166-25-7168(旭川市経済観光部観光課)